

# 米子高専は2021年4月から総合工学科(1学科制)に再編予定です。

※2020年3月25日現在、設置計画申請準備中です。

内容については予定であり、変更する場合があります。詳細が決まり次第、随時、ご案内します。

## 学科再編の狙い

時代の変化と技術の急速な進歩に伴い、社会で求められている技術者の姿も変わってきました。米子高専では、こうした世の中の変化に対応するとともに、教育内容の高度化を目指して、既設の5学科を1学科・5コース制に再編予定です。学科再編に伴い入試方法※を以下のように変更します。

### ※ 入試方法について

推薦、学力検査ともに、総合工学科としての一括入試(くくり入試)とします。入学前にコースを選ぶのではなく、コース選択は、入学後の希望調査・成績・面談等により行います。推薦による選抜は、これまで実施していた作文(デッサン)を廃止します。学力検査による選抜はこれまでの方法と変更はありません。具体的には以下の方法とします。

- ・推薦による選抜は、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。
- ・学力検査による選抜は、学力検査(理科、英語、数学、国語、社会)及び在籍(出身)学校長から提出された調査書を総合して判定します。

### 現行の学科構成 専門5学科制

5 学年	機械工学科 電気情報工学科 電子制御工学科 物質工学科 建築学科
4 学年	
3 学年	
2 学年	
1 学年	

入学定員 200名 (各学科40名×5学科)

- ★既存5学科を1学科5コースへ
- ★併せて混合学級くくり入試も導入
- ★専門分野と異分野の知識の融合
- ★情報系のコース設置と強化

### 再編後の構成 ① 総合工学科 1学科5コース制

総合工学科	機械システムコース	電気電子コース	情報システムコース	化学・バイオコース	建築デザインコース
5 学年	⑤ 医工学・ヒューマンデザイン教育				
4 学年	⑥ リベラルアーツ教育				
3 学年	40名程度	40名程度	40名程度	40名程度	40名程度
2 学年	④ 数理・データサイエンス関連教育				
1 学年	③ ② ① 専門基礎共通教育				

入学定員 200名 (推薦選抜は入学定員の50%程度)

## 再編のポイント

### ① 1学科・5コース制とPBL教育(課題発見・解決型教育)による複眼的視野の強化

1学科に統合・再編することで各専門分野の交わりを促進し、異分野の知識や考え方を習得して複眼的視野を強化します。

### ② 入学後のコース選択によるキャリア形成の最適化

入学後、2学年前期まではコース共通の専門科目を学び、各専門分野の特徴・将来像などについて理解を深めます。1学年の間に志望する専門コースを見極め、2学年後期からの配属となります。コース選択は、入学後の希望調査や成績・面談に基づいて慎重に行います。

### ③ 混合学級によるコミュニケーションスキルの向上

1学年はもちろん、2学年の間は志望・配属コースによらないクラス編成とします。様々な志向をもった学生の交わりを促進することで、チームで活動するために必要なコミュニケーションスキルを磨きます。

### ④ 情報を活用するための数理・データサイエンス関連教育

膨大な情報の中から新たな価値を見だし活用する能力を強化します。これは、これからの高度情報化時代において、専門分野にかかわらず必要となる能力です。情報系教育を推進する中核として情報システムコースを設置します。

### ⑤ 地域の特性を生かした医工学・ヒューマンデザイン教育

包括連携協力協定を結んでいる鳥取大学医学部、YMCA 米子医療福祉専門学校とも連携し、医療・福祉・介護・健康を題材とした人のために技術を活用する学習を通じて、複数の分野を融合しながら新たな価値を創造するための能力を育成します。

### ⑥ 豊かな発想力を養うリベラルアーツ教育

学んだ知識・技術を社会に還元するためのジェネリックスキルを強化するため、社会科学系科目や外国語科目等を中心に国際性を涵養するほか、豊かな発想力を身につける教育を全学年にわたって行います。